

比叡山延暦寺に点在する 二千五百基の僧墓を詳細に調査 特色

- ▼比叡山延暦寺山内に点在する僧侶の墓や墓地、山麓の坂本、関連する京都五箇室門跡にある僧侶の墓や墓地を調査・収録。
- ▼全山の僧墓二千五百基すべてに基ナンバーをふり、写真及び、判読しうるかぎりの墓碑銘を掲載。
- ▼比叡山の全体図、周辺図、ルート図に加え、詳細な墓図・墓地図を作成。
- ▼伝承されている世譜と文献史料もあわせて、各塔頭の歴代住職を初めて解明。



【体裁】B5判・上製函入・総1228頁
小川善明著、
序文＝第258世天台座主・大樹孝啓
推薦＝末木文美士
2025年7月刊行
ISBN978-4-8318-7793-2 C3321 Y85000E
定価：本体85,000円＋税



法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL:075-343-0458 FAX:075-371-0458
Homepage: <https://www.hozokan.co.jp> e-mail: info@hozokan.co.jp

比叡山延暦寺僧墓総覧 全3巻

(取扱書店印)

[]セット申し込みます

ご住所 〒

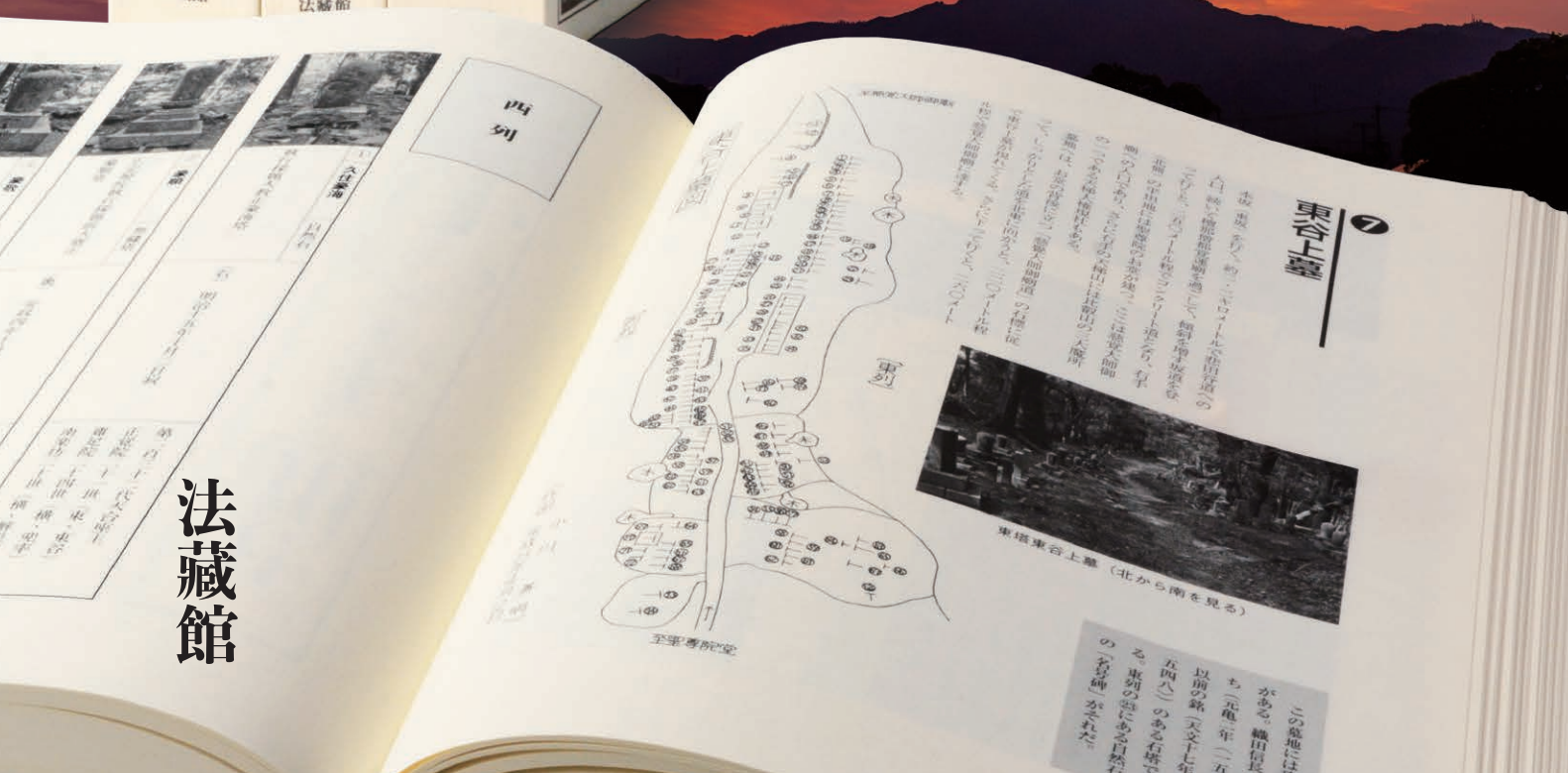
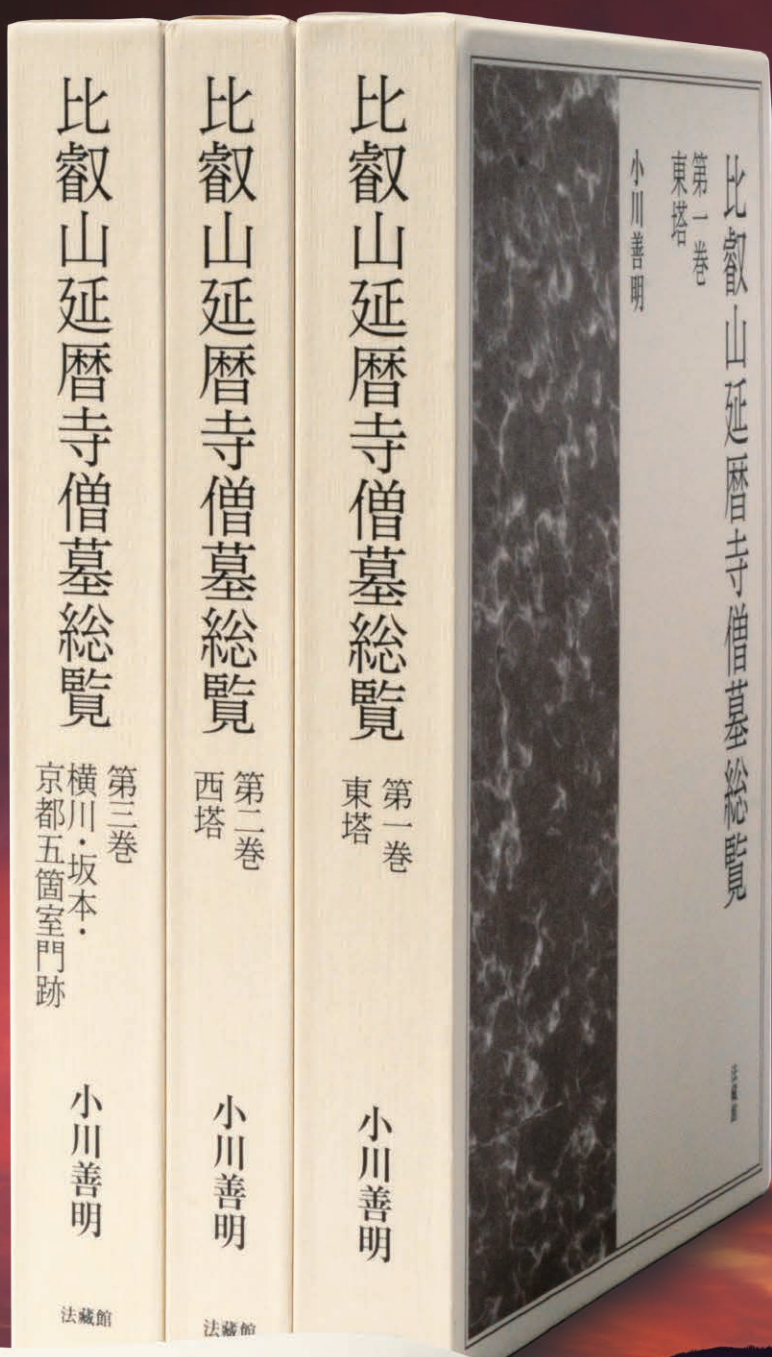
お名前

お電話

申込書

比叡山延暦寺 僧墓総覧 全三巻

比叡山二千五百基の僧墓を初調査！
全墓碑銘の翻刻と写真、地図、各諸院の歴代住職一覧を付した、
比叡山史の根本資料、待望の刊行！



法藏館

比叡山二千五百基の僧墓を初踏査！

八年超、五百回以上の現地調査を経て、全墓碑銘の翻刻、写真や詳細な地図を掲載し、各諸院の歴代住職一覧を付した、比叡山史の根本資料、待望の刊行！

【推薦】

比叡山史の根本史料

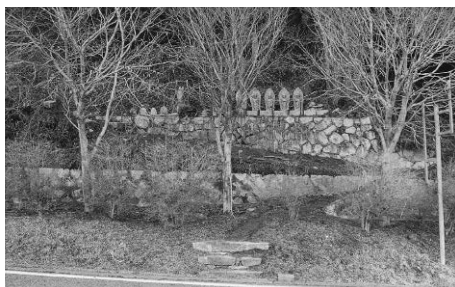
比叡山延暦寺は、最澄の入山以来、千二百年以上の歴史を誇る。信長の焼打ちで徹底的に破壊されたとはいえ、その後の復興は目覚ましいものがあつた。今も鬱蒼とした山林の中に、数多くの堂舎僧房が点在し、肅然とした思いに駆られる。著者の小川善明氏は、その歴史を辿るよすがとして、山内の墓地の詳細な調査を手掛けた。八年かけて五百回を越える調査を行ない、四十九の墓域の二千五百基もの墓碑のデータを写真とともに見やすい表とし、丁寧な地図と諸院の歴代住職の一覧を付し、比叡山史の根本史料として上梓された。拝見していくと、意外に在家者の墓もかなりある。また、安楽律院には沙弥・近侍などと記された墓も多く、尼墓には沙弥尼の墓がまとめられていて興味を惹かれる。墓碑の形式も様々あり、近世の墓制という面からも注目される。今後倒壊したり、摩滅して碑文が読めなくなる恐れも大きいだけに、後世に残る貴重な記録である。

末本文美士

(国際日本文化研究センター名誉教授)

総合研究大学院大学(総研大)名誉教授、東京大学名誉教授)

12 南谷墓



墓地入口に立つ六地藏

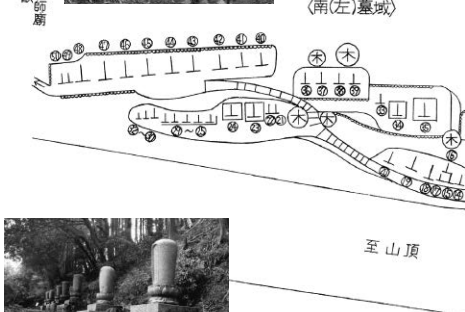
墓地は比叡山ドライブウェイの山頂への分岐となる信号の東側に建つ西尊院を挟んで向かい(南西)にあり、信号より山頂へと向かうドライブウェイ内を、行き交う車両に配慮して通行させてもらうと、六〇メートル程右手(西側)の山側に小道が現れる。ここが南谷墓の入口となる。入口を入ると、急斜面にへばりつくように多数の墓石が林立する。さらに、南端最上部より続く急な斜面を登ると二七五メートル程で智証大師円珍廟に達し、もう五二〇メートル程登ると比叡山の最高峰・大比叡(八四八メートル)に達する。



寛永寺や輪王寺門跡の歴代墓(右端は天海?)



勝堂高虎(奥)と松寿院(手前)の墓



南墓域の最上段に立つ輪王寺宮の墓塔群



南谷墓図

作図/平成23年 6月15日
令和3年 5月28日

Point 1
墓地ごとに
詳細な地図を掲載!

目次

◆第一巻 東塔

序 第二百五十八世天台座主 大樹孝啓
序 小川善明

●東塔

- 比叡山への道① 無動寺坂
- 紀貫之墓
- ブルーノ・ベツォルト夫妻墓
- 相實和尚墓所
- 無動寺谷墓(1)
- 無動寺谷墓(2)
- 無動寺谷墓(3)
- 比叡山への道② 本坂(東坂)
- 東谷下墓
- 悲田谷道
- 檀那僧都覚連廟
- 東谷上墓
- 慈覚大師円仁御廟
- 北谷下墓
- 大講堂周辺
- 北谷上墓
- 南谷墓
- 智証大師円珍廟
- 比叡山への道③ 雲母坂
- 西谷墓
- 浄土院(伝教大師最澄御廟)
- 別当天師光定廟
- 比叡山頂への道①②③④⑤⑥⑦⑧
- 東塔五谷堂舎・僧坊

◆第二巻 西塔

●西塔

- 比叡山への道④ 松尾坂
- 南尾谷墓
- 南谷墓2
- 南谷墓1
- 惠亮堂
- 北尾谷上墓
- 北尾谷下墓
- 比叡山を貫く道① 1
- 寂光大師円澄廟
- 東谷墓
- 比叡山への道⑤ 黒谷道
- 青竜寺下墓(上段)
- 青竜寺下墓(中段)
- 青竜寺下墓(下段)
- 北谷墓
- 孝道教団始祖墓
- 西塔五谷堂舎・僧堂

◆第三巻 横川・坂本：京都五箇室門跡

●横川

- 比叡山への道⑥ 元三大師道
- 定光院
- 元三大師良源御廟
- 解脱谷
- 比叡山を貫く道① 2 峯道
- 比叡山を貫く道② 大宮谷林道
- 比叡山を貫く道③ 横川行者道
- 高浜虚子塔
- 横川霊園
- 覚超僧都廟
- 比叡山への道⑦ 横川本坂(中尾坂・飯室坂)
- 恵心僧都源信廟
- 院内墓
- 慈忍和尚尋禪廟
- 飯室谷墓・安楽律院上墓
- 安楽律院
- 藤原定家塚
- 安楽律院下墓(尼墓)
- 横川六谷堂舎・僧坊

●坂本(域外も含む)

- 慈眼堂墓地
- 庄墓(森本墓地)域外
- 比叡山延暦寺大霊園

●京都五箇室門跡

- 三千院
- 曼珠院
- 青蓮院
- 妙法院
- 毘沙門堂
- 比叡山延暦寺・歴代天台座主

Point 3
度重なる土砂崩れ等で、
斜面に墓塔が落下している
墓地も(安楽律院下墓)!



Point 2
すべての墓塔の
写真と墓碑銘、
地図の位置を掲載!

著者略歴

小川善明(おがわよしあき)

一九四九年、京都生まれ。名墓探訪家。二十代での紆余曲折を経て、三十を過ぎて探墓に目覚める。以後、京都を中心に名墓の探訪に没頭。やがて全国へと足を伸ばすことになり、奔走すること三六万キロメートル。探墓数三万二千基(関連四六万基)に至る。

主な著書に『京都名墓探訪1 洛東編Ⅰ』(一九九四年、ナカニシヤ出版)、『京都名墓探訪2 洛東編Ⅱ』(一九九六年、ナカニシヤ出版)、『京都新発見散歩』(共著、一九九八年、昭文社)、『京の名墓探訪』(共著、二〇〇四年、淡交社)

	13	欠五輪塔	(裏) 天保八年 月十八日寂	禪林院十八世(東)
	12	実印 卵塔	(裏) 天保八年 月十八日寂	禪林院十八世(東)
	11	直土院権少僧都實印塔	(裏) 天保八年 月十八日寂	禪林院十八世(東)
	10	実乗 無縫塔	(右) 文化元年六月五日	竹林院十三世(東・北谷)
	9	實融 自然石	(右) 文化元年六月五日	禪林院十四世(東・南谷)
	8	實融 自然石	(右) 文化元年六月五日	禪林院十六世(東・南谷)